



代官山地域は現在多くの周辺環境に影響を及ぼす、建築・開発が進行中です。これらが与える影響は少なからず地域環境を変えていくこととなります。これらに向き合い代官山の魅力を共創して行くかが問われます。代官山の変化を受け入れつつ失われてはならない代官山固有の魅力を保って行くため明日の代官山を共に考え行動してください。

住居地域における「簡易宿泊所」に関する要望書 渋谷区提出報告

2018年8月7日(火)に長谷部 健渋谷区長に、代スキ会から【渋谷区の良い住環境を維持するために、事業者が建築等の行為をおこなう場合は、「行政」と「地域」と「事業者」が話し合うルールづくりをしていただく要望書】を提出しました。

代官山地域環境保全の会からは【1. 代官山町地区袋小路内の閑静な住環境を守るため、簡易宿泊所の計画を反対する。2. 今後も住環境を毀損する施設が容易に計画することの出来ないよう、代官山地区内まちづくり条例(わがまちルール)の策定を要望する要望書(賛同署名者は481名)】を提出いたしました。

その後、銀座ルール/銀座街づくり会議に携わっている代スキ会の小

林博人理事より、銀座には、銀座街づくり会議が運営する銀座デザイン協議会があり、建築等の計画が「銀座らしさを損なわない、事業者の方も納得する計画」となるよう協議を続ける仕組みがあることをお伝えしました。市街地開発事業指導要綱が改訂され、事業区域の面積が100㎡以上の開発事業は、デザイン協議会との協議内容を記載した報告書を区との合意書に添付することが義務付けられたことで、銀座の事業者には新しいことを考え、「伝統より革新を!もっと良くするにはどうするか」を前向きに協議する仕組みがあること。「協議」することの大切さ、そして「コミュニティと共存するためにルールを作らず協議することがベストの解答であること。「ベストな解答」は時代により変化することなどをお話いただきました。

代官山にもそのような「協議をするルール」の策定が望まれます。

長谷部健渋谷区長からは「要望書をお預かりします、銀座ルールについても自分なりに調べてみます。」とのお返事をいただきました。

アズ代官山「簡易宿泊所」に関する説明会 (第4回)

2018年6月7日(木)に、株式会社アズ・ブリックの説明会があり、右記の書類を代官山地域環境保全の会：柴山さん、町会長(代スキ会)石原さんに提出、今後も協議していくことになりました。

- 1- 運営協定書(後日、住民の声を盛り込み、今後詳細を協議していく)
 - 2-(アズ・ブリック) 入居管理規約
入居管理規約に同意しないと予約出来ない仕組み
 - 3- 私道で袋小路の場合の権利書(道路の補修、排水管)
- 今後も株式会社アズ・ブリックと協議を続けています。

ラ・フェンテ建物(野村不動産株式会社建設)の開発協議 (第6回)

2018年6月22日(木)に、野村不動産株式会社との協議が行われ、8月からの解体工事における、近隣住民への対応についての説明がありました。解体工事は2018年8月から始まり、2019年3月まで行われる予定です。

代スキ会からは、「解体に関してクラッシャーでなくできる限り、振動や音が出ないものに」解体以外には「店舗部分に計画されている貫通道路の天井は、空が見えるように解放的に」「駐輪場は地下にして、地上部分を緑化し

広場に」「八幡通り側の建物の左側エントランスからも自転車が地下の駐輪場に入れるようにし、エントランス前を通りエントランス前を通り裏の道へ抜ける通路を整備することで回遊性をもたせて欲しい」等の要望を伝えました。解体に関しては、近隣レベルだけでなく工事に影響が出る周辺に説明をすること、猿樂小学校側のスクールゾーンについては工事車両は「校門の前は通らないように」等の配慮をするよう伝えました。



渋谷区マスタープラン意見交換会 (第1回)

2018年6月30日(土)に、アドレスコミュニティールームにて「渋谷区マスタープラン意見交換会」が行われ、代スキ会より9名、近隣住民11名が参加しました。

渋谷区マスタープラン担当課長、森田一央さんより「渋谷区の現状」「渋谷区マスタープランについて」がスライドで紹介され、意見交換会が行われました。

意見交換では、「20年前のマスタープランはどのくらいの実現率か知りたい。どう変化しているかを知りたい。」という意見を皮切りに右記の意見がでました。

代官山地域は2000年のマスタープランに策定された「良好な住環境の維持・形成を図ります」「良好な沿道景観を維持します」をベースに

- ・「住まう、働く、訪れる」のバランスを踏まえたアーバンビレッジとして地域コミュニケーションと文化を発信するまち
 - ・旧朝倉邸と、旧山手通りのヒルサイドテラス等建物郡と緑が織りなす開放的で良好な環境維持ができるまち
 - ・車社会から人を中心としたまち 『人と車「乗っている人」が共生し交歓できるまち』
 - ・歩いて楽しめるまち「緑、建物スケール、歩行者のための道、路地を生かしたまち」
 - ・歴史と文化をふまえ豊かさを感じられるまち
 - ・地域の現状をふまえ住民参加によるまちのマネジメント[エリマネ]の出来るまち
- 次回意見交換会は、2019年2月を予定しています。

オンワード商業ビル

2018年7月27日(金)に株式会社オンワードホールディングスとの協議があり、「2016年の10月14日の説明会で2018年7月15日に工事期間は終わる予定でしたが2018年10月15日までに延びる事になりました。」「建物は順調に進んでおりますが、ゴルチエ、グレー

スコンチネンタル、VIA BUS STOPと代官山は思い入れのある土地なので、ご期待にそのような今までにないものをご用意したい。詳しくはプレス発表にてお伝えします」とのことです。



恵比寿西二丁目複合施設

都営住宅(恵比寿西2-13-3)は2018年8月より解体工事をはじめ、3年後の2021年1月に地上7階、地下1階の恵比寿西二丁目複合施設になります。1階～3階には認可保育所、看護小規模多機能施設型居宅介護事業所、

認知症高齢グループホーム、知的障害者グループホーム、障害者通所施設、4階～7階は区営住宅となります。



渋谷ブリッジ (渋谷代官山Rプロジェクト)

渋谷・代官山間の東横線地下化による線路跡地に店舗やホテル、保育所を備える複合施設「渋谷ブリッジ」が2018年秋に開業します。

A棟には、待機児童問題に対処する保育所型認定こども園「渋谷東しげんの国こども園 small alley」が開園。

一方のB棟には、カフェ・ラウンジを併設し、ドミト

リーから個室まで様々なタイプの部屋を備えた「マスタートードホテル」や、入居者が自由に空間を創ることができる仕様のオフィス、店舗やカフェなどが出店予定となっております。

この施設は渋谷と代官山をつなぐ意図もあると言われています。

ブルネイ国所有地視察

2018年7月25日に近隣住民と代スキ会の14人がブルネイ国所有地を視察しました。木々に覆われた入口からの道を通り抜けた場所には工事途中で放棄されたかなりの高低差がある建物の残骸が残されていました。

想定以上に工事が進捗した段階で中止になったことがわかり、敷地利用の計画を変更する余地はほとんど無いことも確認されました。

今後の展開は、現在未定です。

哲学カフェ



2018年7月14日(土)に、哲学カフェが開催され、14名の方にご参加いただきました。今回はテーマを決めるところから始まり、みなさんからの問いの中から「ソサエティとコミュニティーにおける心地よさの違いについて」がテーマに決定しました。人との関係における心地よさ、空間の心地よさ、美しさの心地よさ等の思い思いの言葉が紡がれました。

『安心は「飽きる」に繋がる。なので「心地よい偶然(ハプニング)」を人は求めるのではないか? 偶然は隠れた必然(秩序)を前提とするかも知れないが、「偶然が許されるコミュニティー」に居心地の良さを感じるのではないか。』という言葉が印象的でした。

今回の哲学カフェは11月24日(土)に行われますので皆様のご参加をお待ちしております。

代官山ステキなまちづくり協議会とは?

「代官山ステキなまちづくり協議会(通称代スキ会)」とは、渋谷区まちづくり条例に基づく、この地域の認定まちづくり協議会です。認定まちづくり協議会とは、地域のまちづくりに関するルールづくりや、行政への提言を行うことが出来る組織です。

代官山ステキな街づくり協議会
(略して代スキ会)へのお誘い

代官山好き!

がただ一つの入会資格
いつでも誰でもウェルカム♪

■代スキ会ホームページ
<http://daisukikai.org>

■正会員/年額 10,000円 準会員/年額 2,000円
賛助会員(団体)/年額 50,000円

■お問い合わせ先 代官山ステキな街づくり協議会事務局
石原貞治(ICAデザイン研究室内)
tel:080-4404-1933 e-mail:ica@alles.or.jp

